

尼崎西RC小出様、西宮RC田和様、平林様、米山奨学生 金 君ようこそいらっしゃいました。

甲子園の高校野球の応援といえばアルプススタンド。このアルプスの名称は、芸術家岡本太郎の父親、人気風刺漫画家岡本一平が朝日新聞に「ソノスタンドハマタ素敵ニ高ク見エルアルプススタンドダ。

上ノ方ニハ万年雪ガアリサウダ」の一文をつけた風刺漫画を載せた事が由来です。1924年甲子園球場が完成し、最初は甲子園大運動場と命名され、陸上競技や球技場としても利用されることが念頭に置かれていたため、グラウンドは三角形で左右のポール際のコーナーが丸みを帯びるという形状で現在の目から見ても過大といえるサイズのグラウンドでした。1934年に日米野球に出場したベーブルースはデカすぎと驚いたそうです。1935年には阪神タイガースの前身、大阪タイガースの本拠地になるわけですが、こんなに大きなグラウンドではスタンドインのホームランは少なかったと想像できます。

戦後野球ファンに夢を与えるホームラン、柵越えホームランが注目されるようになり、甲子園球場の本塁打率が悪かったことを危惧した阪神電鉄が1947年日本で第一号のラッキーゾーンを作り、最深部は約20m狭くなり、ファンが求めるホームランを出やすくしようと対応しました。しかし時代は変わり大リーグ並みの広い球場が求められるようになり、役目を終えたラッキーゾーンは1991年12月に撤去されました。プロ野球共々高校野球も金属バットの導入で急激にホームランが増えたのも理由のひとつだといわれています。

金属バットを導入したのは、木のバットの材料である青ダモの木が野球熱の高まりで不足したため、1974年から使用することになりました。

高野連もホームラン対策として2002年にバットのヘッドスピードを遅らせるために900g以上のバット、2007年に飛ばないボール低反発球の使用という規制を設けていますが、近代的な筋力トレーニングの導入・打撃マシンの発達性能が向上した金属バット、このバットが有るかぎり、従来の「つなぐ野球」から「強く打つ野球」に変わってきています。

社会人野球も同じ理由で1979年から使用を認められ、2001年使用禁止になりました。理由は色々ありますが、金属バットに頼る大味なスコアが多くなったことも一つです。

いま高校野球もその後を追っているような事が少し心配です。

私達のクラブは「強く打つ野球」も大事ですが私は「つなぐ野球」の方が大事だと思います。11月3日のIM開催、送りバンドを交えた「つなぐ野球」で皆様と勝利の美酒を味わいたいものです。